かすみがうら市インターネット公有財産（自動車）売買契約書

売主 かすみがうら市（以下「甲」という。）と買主 （以下「乙」という。）とは、次の条項によりかすみがうら市インターネット公有財産（自動車）の売買契約を締結する。

（目的）

第1条 甲は、甲の所有する次の物件（以下「売却物件」という）を現状有姿のまま乙に売り渡し、乙はこれを買受けるものとする。

- （1） 車 名
- （2） 車台番号

（売払代金）

第2条 売却物件の売払代金は、金 円（うち消費税 円及びリサイクル料金 円を含む）とする。

2 乙は、売払代金を、一括して指定する期日までに甲の指定する金融機関等に納付するものとする。なお、契約保証金は売払代金の一部に充てることができる。

（譲渡の時期）

第3条 売却物件の譲渡の時期は、乙が売払代金及び第13条に定める契約等の費用を完納した時とする。

2 乙は、譲渡手続きの完了後に売却物件の移動等の諸手続きを行うこととし、掛かる費用を全て負担する。また、移動等の諸手続きが完了後、自動車検査証の写し又は登録事項等証明書の写しを提出するものとする。

3 甲は、売却物件について、譲渡時に乙に対し譲渡証明書を発行するものとする。

（車両の引き渡し）

第4条 甲は、契約締結し、乙が売払代金完納後、両者が定める日に売却車両を引き渡すものとする。なお、引き渡し場所については、売却物件の保管場所

とする。

(危険負担)

第5条 この契約締結後、売却物件が甲の責めに帰することができない理由により滅失し、又はき損した場合は、その損失は乙の負担とする。

(担保責任)

第6条 乙は、売却物件の引き渡し後、売却物件に隠れた瑕疵のあることを発見しても、売払代金の減額若しくは損害賠償の請求又は契約の解除をすることができないものとする。

(解除)

第7条 甲は、乙がこの契約に定める義務を履行しないときは、この契約を解除することができるものとする。

(乙の原状回復義務等)

第8条 乙は、甲が前条の規定によりこの契約を解除したときは、甲の指定する期日までに、売却物件を原状に回復して甲に返還するものとする。ただし、甲が売却物件を原状に回復することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(損害賠償)

第9条 乙は、この契約に違反したために甲に損害を与えたときは、甲の定める損害賠償金を甲に支払うものとする。

(有益費等請求権の放棄)

第10条 乙は、この契約を解除された場合において、売却物件に投じた有益費、必要費その他の費用があっても、これを甲に請求しないものとする。

(返還金)

第11条 甲は、この契約を解除したときは、収納済みの売払い代金を乙に返還するものとする。

(返還金の相殺)

第12条 甲は、前条の規定により売払代金を返還する場合において、乙が損

害賠償として甲に支払うべき金額があるときは、それらの全部又は一部とその返還金とを相殺できるものとする。

(契約の費用負担)

第13条 本契約の締結に関して必要な費用は、乙の負担とする。

(信義則)

第14条 甲乙両者は、信義を重んじ、誠実にこの契約に定める事項を履行するものとする。

(疑義の決定)

第15条 この契約に定めのない事項及びこの契約に関し疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各1通を保有する。

令和7年 月 日

甲 住所 茨城県かすみがうら市上土田461番地

氏名 かすみがうら市長 宮 嶋 謙

乙 住所

氏名